

第 37 回日本肝胆膵外科学会学術集会 NGP 活動報告②

Chairman's Educational Program 4

「Course for Learning Expert Skills 2: Lymphadenectomy of the Hepatoduodenal Ligament」

司会：齋浦 明夫 先生（順天堂大学）、石井 範洋（群馬県済生会前橋病院：NGP-WG メンバー）

演者：① 水野 隆史 先生（名古屋大学）② 杉浦 禎一 先生（静岡がんセンター）③ 里井 壯平 先生（関西医科大学）

Chairman's Educational Program 4「Course for Learning Expert Skills 2: Lymphadenectomy of the Hepatoduodenal Ligament」が開催され、齋浦 明夫先生（順天堂大学）とともに司会を務めさせていただきました。本セッションは、これまで同学会が行ってきた教育セミナーが E-ラーニングに移行したことに伴い、現地学会での若手への教育的プログラムが減少することへの危機感から、本学会の会長である調 憲先生による特別企画として開催されたものです。若手外科医や Next Generation の肝胆膵外科医に向けて、専門的な技術の継承と実践的知識の共有を目的とした、非常に意義深いセッションとなりました。

本セッションのテーマは肝十二指腸間膜の郭清ということで、3 名のエキスパートの先生方よりご講演をいただきました。1 人目は名古屋大学の水野 隆史先生から肝門部胆管癌における肝十二指腸間膜の郭清についてご講演いただき、アプローチを 3 step に分けて考えるとわかりやすいといことを具体的な手術ビデオを供覧しつつ解説いただきました。2 人目の静岡がんセンターの杉浦 禎一先生からは郭清の際の出血やトラブルシューティングについて、ご自身が経験された症例の手術ビデオを提示しながら解説いただきました。また、動脈の小分枝からの出血に対して腹直筋をラッピングするという新たな止血法をご紹介いただき、大変興味深い内容でした。3 人目は関西医科大学の里井 壯平先生から膵癌における郭清手技や血管合併切除再建の手技や工夫について実践的な内容についてご講演をいただきました。

いずれのご発表も高い専門性に基づいた内容を分かりやすくご講演くださり、疾患ごとの郭清の Concept や考え方、出血やトラブルシューティングなど臨床に直結するような教育的にも非常に有意義なセッションであったと思います。司会として私自身も大変勉強になったとともに、今後の若手教育に向けた方向性を考える上でも非常に有意義な時間となりました。

最後に、共同司会を務めてくださった齋浦明夫先生をはじめ、ご講演いただいた演者の先生方、そしてこのセッションを特別企画として企画し、若輩者である私に司会という大役を与えて頂いた会長の調 憲先生に心より御礼申し上げます。

(文責：石井 範洋)